

高知県地震防災研究会・2008年度技術発表会報告書

7月12日(土曜日)に高知県建設職業能力開発短期大学校にて、定例の技術発表会を下記のプログラムで開催しました。

- | | | |
|---------------------------------|-----------------|------------------|
| 1. 開会挨拶 | 高知県地震防災研究会 会長 | 吉川 正昭 |
| 2. 高知0m地帯(高須地区)の津波避難は可能か? | 四国建設コンサルタント(株) | 小川 修 (技術士) |
| | 都市開発コンサルタント(株) | 岡田 知己 (技術士) |
| | 四電技術コンサルタント(株) | 山崎 方道 (技術士) |
| | 岡林設計 | 岡林 均 (技術士補) |
| 3. 谷埋盛土に関する危険度判定(どのような形状が危ないか?) | 構営技術コンサルタント(株) | 須内 寿男 (技術士) |
| | 高知県地震防災研究会 会員 | 大西 一賢 (技術士補) |
| 4. どこにでもある地震に弱い家(道路から見た耐震性の判定) | (株) 相 愛 | 中村 和弘 (技術士) |
| | 依光義清建築設計事務所 | 依光 義清 (1級建築士) |
| 5. 四川大地震の特徴について | (株) サン土木コンサルタント | 和田 達夫 (技術士) |
| 6. AMDによる振動制御(構造物の地震応答低減) | 高知県地震防災研究会 会長 | 吉川 正昭 (工学博士・技術士) |
| 7. 閉会挨拶 | 高知県地震防災研究会事務局長 | 小川 修 |

当日は、非常に天気が良く暑すぎるくらいでしたが、70名強という沢山の方が参加して下さいました。(去年は、台風が直撃し、しかも講習の時は暴風雨という悪条件の中での開催を余儀なくされ、参加予定者も会場になかなか行けないという状態でした。)

参加者の内訳は、官庁等の方が17名、建設業関係の方が11名、コンサルタント業の方が32名、報道関係の方が3名、一般の方が11名です。

まず、高須地区の津波時の一時避難場所の課題では、小川会員から4名で調査した結果が報告されました。高須地区は、概ね高いビルに住民の避難が可能であること。但し、絶海池近辺は、避難ビルが遠いことや津波が早く到達すること、さらに絶海池に向かったの引き波の危険性などがあることなどが調査結果として指摘されました。



【開会の挨拶を行う吉川会長】



【発表を行う小川会員】

続いて、谷埋め盛土の危険性については、須内会員より危険地区の概要や盛土の形状による危険度の違い、さらに実験による検証結果が示されました。大西会員においては、3次元解析による谷埋め盛土の形状別の検討結果が示され、併せて解析上の今後の課題などについても提示されました。



【発表を行う須内・大西会員】

休憩を挟んで中村会員及び依光会員からは、地震に対する家屋被害の実態や地盤条件による被害規模の差などについて、また、実際の家屋について外観からだけでも危険性がある程度想定されることが報告されました。



【発表を行う中村・依光会員】

和田会員は、最近発生したばかりの四川大地震及び岩手・宮城地震の被害例が報告されました。四川大地震では、被害の大きさや中国独特の建造物の脆弱さが指摘されました。また、岩手・宮城地震では、土木技術者の想定を大きく上回った地盤変動の報告が印象的でした。



【発表を行う和田会員】

締めとして、吉川会長からは、高層建造物の免震や制振について身振り手振りを加えながら分かりやすく説明がありました。また、高層建造物は、このような何らかの地震対策により成り立っていることも参加者に理解されたことと思います。



【発表を行う吉川会長】



【熱心に聴講する参加者の方々】



【閉会の挨拶をする事務局小川会員】

又、当日は今回の発表会に対するアンケートを実施しました。その結果を次ページ以降に示します。